

「中央新幹線建設工事における大井川水系の水資源の確保及び自然環境の保全等に関する引き続き対話を要する事項」に対する見解(その3追加)

令和元年12月24日(火)

東海旅客鉄道株式会社

1

目次

I 地質構造・水資源専門部会編

- 1 リスク管理に関する基本的考え方(1)(2)(3)(4)(5)
- 2 管理手法(1)(2)
- 3 全量の戻し方(1)(2)(3)(4)(5)
- 4 突発湧水対応(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)
- 5 中下流域の地下水への影響
- 6 発生土置き場の設計(1)(2)
- 7 土壌流出対策
- 8 監視体制の構築(1)(2)(3)(4)
- 9 その他(資料作成について)**

II 生物多様性専門部会編

- 1 生物多様性の保存に関わる基本的考え方(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)
- 2 減水量の計測(1)(2)(3)
- 3 減水に伴う生態系への影響(1)(2)
- 4 濁水等処理(1)(2)
- 5 水温管理
- 6 発生土対策
- 7 代償措置

※ 太字:今回送付の見解

2

9 その他(資料作成について)

3

「9 その他(資料作成について)」

事項の内容

論点にあった定量的な表現を用いた資料作成。すなわち全量と
いえば、瞬間的な流量ではなく、総体積、または平均流量と想定
流出時間の両方を明記するなど、情報の確認が容易にできる資
料の作成

4

「9 その他(資料作成について)」(見解)

- ・今回の資料作成にあたっては、より定量的な資料作成に努めました。具体的には、主に以下の項目において、これまでに提出していた資料にさらに定量的な表記を追加いたしました。

【地質構造・水資源専門部会編】

1 リスク管理に関する基本的考え方(2)、(3)

- ・湧水量低減対策(吹付コンクリート等)それぞれの具体的な施工内容を記載

6 発生土置き場の設計(1)

- ・発生土置き場の盛土計画、沈砂池等における具体的な数字を記載

【生物多様性専門部会編】

1 生物多様性の保存に関わる基本的考え方(3)

- ・渇水期における沢等の流量の予測結果を記載

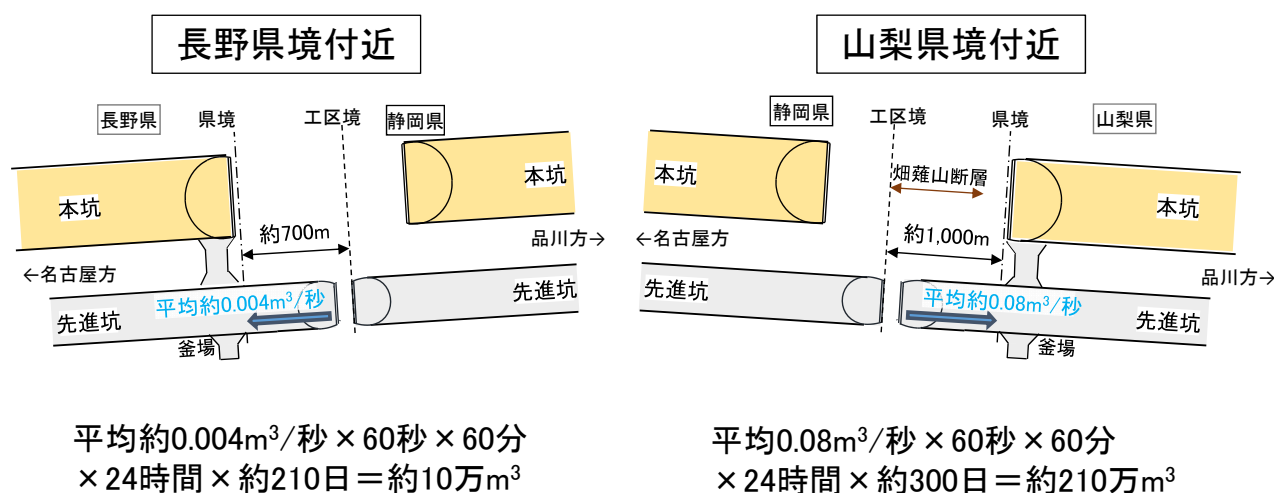
- ・また、「瞬間的な流量ではなく、総体積、または平均流量と想定流出時間の両方を明記」とは、県外に流出するトンネル湧水量の総量ということであれば、10月4日にご説明させて頂いた資料を追加いたします。

5

県外へ流出するトンネル湧水量の総量

令和元年10月4日説明資料

- ・山梨県、長野県側から掘削する先進坑が県境を越えて静岡工区と貫通するまでの間に静岡県内のトンネル湧水が県外へ流出する総量は、以下のとおりです。



※掘進速度を約100m/月と仮定し、掘削期間を算出

※湧水量の予測値は、吹き付けコンクリート、防水シート、覆工コンクリート等を施工しない条件において予測したもの

6